

2013年3月議会特集

甲賀市の新年度予算

一般会計は総額 342 億円 (対前年度 1.4%減)。歳出は、4つの重点テーマで編成。そのなかには、市民の皆さんの切実な要求や日本共産党が議会内外で粘り強く要求し続けてきた内容が盛り込まれています。主なものは…

実現した主なもの

- 子どもの医療費無料化拡充＝通院・中学校卒業まで。所得制限を緩和。
- 障害者医療費助成も拡充＝身障3級まで対象。
- 障害児放課後児童クラブ開所＝貴生川に。
- 新甲賀病院へ専用コミバス運行。
- 市営寺庄住宅いよいよ着工＝3階建て、延べ床面積 1,850㎡、30戸。2カ年事業。
- 小学生平和記念式典参加枠拡大＝28人。
- 住宅リフォーム助成制度継続5000万円。
- 甲南駅舎と周辺整備いよいよ着工へ。
- 公共施設の省電力化、太陽光発電設置支援。
- 保育園・幼稚園エアコン設置 800万円。
- 道路パトロール強化 4831万円。
- 保育園耐震化推進 1750万円。
- 同和人権予算は2779万円の減額。

安井議員は、①国政との関係で、民意が議席に結びつかない小選挙区制や、ダブル打開のために所得を増やす賃金の引き上げを、原発ゼロで安心安全のまちづくり、憲法改悪の動きについてなど国政



安井直明議員が代表質問

新年度予算案などを審議する3月定例会議は2月21日から3月25日まで開かれました。日本共産党甲賀市議団は安井直明議員が代表質問に、また山岡光広・小松正人・小西喜代次の各議員(発言順)が一

問題に対する市長の考えを聞きましたが市長は、TPPについては、はつきりと反対の立場を示しましたが、他の問題は、明確な答弁を避けました。②生活保護の引き下げは「最後のセーフティネットとしての機能することが必要」と答弁。③いじめ・体罰根絶を求めて市の実態と対応については、教育委員会の担当部長・教育長はいじめの未解決はない、また、「明らかに体罰という事案はない」体罰は人権侵害で許されないと答弁。④選挙公約と平成25年度予

般質問にたち、市民の切実な願い実現と市政の問題点を指摘。予算特別委員会、常任委員会などでも各議員が積極的に発言しました。安井議員の代表質問(写真 3月1日)と答弁の骨子は次の通り。

算の主な質疑は次の通り。
安井 差別をなくす点からも同和予算の見直しを訴えてきた本年度と比べ新年度はどうか。
副市長 見直しをし、人権対策関係全体で2,779万円減額。隣保館・教育集会所の職員についても、適正な配置に努める。
安井 臨時職員・パート職員の賃金を大幅に引き上げよ。
総務部長 保育士・幼稚園教諭の月額単価5千円、時給単価50円引き上げる。
安井 広島平和記念式典への参加者は何人増やすのか。
総務部長 22名から6名増え28名を募集する。
安井 小中学校医療費は市民税非課税から、均等割のみの課税世帯に助成拡大がなされたが、対象者はどうか。
市民環境部長 375名から70%増加し約640名となる。
安井 保育園・幼稚園のエアコン設置の現状と今後は。
教育部長 岩上、土山、大野、甲賀西南分園、甲賀北、甲南、甲南北、信楽、雲井の各園、伴谷幼稚園の3歳児以上の保育室に設置し、26年度で完了予定。

《代表質問》 ◆国民を苦しめる国の重要問題について、市民を守る立場から市長の所見を問う。
 ◆生活保護基準引き下げは許されない、市にもたらす影響について。◆いじめ・体罰根絶を求めて市の実態と対応はどうか。◆施政方針を受け市長選挙公約と平成25年度予算について問う。

議案提案権生かして積極的に意見書提案

主な議案に対する各党・各会派の態度 ○は賛成、●は反対

主な議案	提案	賛成討論	反対討論	日本共産党	清風クラブ	甲政クラブ	正政会	公明党
25年度一般会計予算案	市長	岩田孝之	山岡光広	●	○	○	○	○
25年度国民健康保険特別会計予算案	市長	鶴岡勲	小西喜代次	●	○	○	○	○
25年度後期高齢者医療特別会計予算案	市長	中島茂	小西喜代次	●	○	○	○	○
25年度介護保険特別会計予算案	市長	橋本律子	小西喜代次	●	○	○	○	○
ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	加藤和孝	討論なし		○	○	○	○	○
地方財源の充実確保に関する意見書	中西弥兵衛	安井直明	なし	○	○	○	○	○
森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書	中西弥兵衛	討論なし		○	○	○	○	○
少人数学級実現のための財政支援を求める意見書	山岡光広	安井直明	なし	○	○	○	○	○
活断層の可能性が高い敦賀原発の廃炉を求める意見書	山岡光広	小松正人	辻重治	○	●	○	○	●
政党助成金の廃止を求める意見書	安井直明	山岡光広	的場計利	○	●	●	●	●
民意を反映した衆議院選挙制度への改革を求める意見書	安井直明	小西喜代次	加藤和孝	○	●	●	●	●
沖縄県の総意であるオスプレイ「建白書」に応えることを求める意見書	小西喜代次	小松正人	谷永兼二	○	●	●	●	●
世界に誇るべき宝憲法9条を守ることを求める意見書	小松正人	山岡・安井	中島・加藤	○	●	●	○	●
生活保護基準の引き下げをやめることを求める請願	年金者組合	小西喜代次	橋本律子	○	●	○	○	●
年金2.5%の削減中止を求める請願	年金者組合	小西喜代次	中島茂	○	●	●	○	●

日本共産党甲賀市議員団は、議案提案権を生かし、今議会にも6件の意見書を提案。このなかで、「少人数学級実現への財政支援を求める」意見書は全員賛成で採択されたものの、他の意見書は不採択となりました。主な議案に対する各会派の態度は左の通り。

日本共産党
甲賀市議団ニュース
 2013年 3月31日 NO. 124



安井 直明
 土山町前野 541
 TEL 67-0147
 Fax 67-1660



小松 正人
 水口町名坂 128
 TEL 62-9652
 Fax 76-0150



山岡 光広
 甲南町森尻 16
 TEL 86-2985
 Fax 86-0415



小西喜代次
 信楽町勅旨 456
 TEL 83-0765
 Fax 83-0765

山岡光広・小松正人・小西喜代次議員が一般質問

一般質問には、13名の議員が質問にたちました。山岡光広、小松正人、小西喜代次の各議員(発言順)が、切実な市民の要求実現を求めました。

山岡光広議員



◆聴覚障害者対応型火災警報器設置補助、◆地域情報基盤、特に共聴施設への対応、市情報番組に字幕と手話を、◆市民の声を生かした甲南駅舎と整備、◆児童クラブの延長保育、◆主要地方道草津伊賀線の歩道整備について。

問 消防法で住宅火災警報器の設置が義務化されたが、聴覚障害者対応型警報器は高額なため設置率が低い。補助対象も制限がある。拡充を。

市長 給付対象基準や事業内容を検討しているところ。(健常者との同居世帯であっても)今後対象とする。

問 あいコムこうかで放映される市の広報番組に字幕スローと手話を、甲賀ケーブルの際には放映されていた『手話トピックス』の復活を。

市長 新年度から番組の音声に対して字幕スローを入れる方向で調整中。福祉の観点から手話をメインにした時間枠を別に確保する方向で検討している。

問 懸案の甲南駅舎と周辺整備が具体化されることは歓迎する。実施にあたっては市民の声を生かした計画に。

建設部長 深川区及び対策委員会に情報提供。今後は地権者、周辺自治区から意見や提言を伺い詳細な整備計画を作成していく。問 昨年9月議会でも取り上げたが、児童クラブの延長保育は。

健康福祉部長 新年度は指導員確保ができないことから実施しない方向。指導員の安定雇用をはかるため賃金引き上げ、実施できる体制づくりへ協議をすすめる。

小松正人議員



◆名刹大池寺の「臥龍の松」受難を契機に市内名木等の登録と保護支援について、◆新公立甲賀病院の開院に伴う、周辺の新たな交通安全対策と環境整備、◆貴生川認定こども園との基本協定並びに訴訟事件の和解内容の検証。

問 名刹大池寺周辺の松枯れがひどい。名松「臥龍の松」など水口町名木に対する感染防止対策はあるか。

産業経済部長 予防措置は、所有者や管理者扱いであり、甲賀市においての対応は、難しいと認識している。

問 市内の名木・古木を調査して登録し、保護管理を強めるべきではないか。

産業経済部長 市内にある名木・古木について甲賀市景観計画に位置づけをし、景観重要樹木との整合性を図りたい。

問 市内で樹木医を指定し、名木等の管理保全ができないか。

産業経済部長 名木の保護管理は、今後重要課題であり、検討してみたい。

問 新公立甲賀病院の開院で病院前の市道幹線の通行量が激増し危険。信号機設置など安全対策を緊急にせよ。

総合政策部長 ①国道1号から入ってすぐの無信号交差点は強く要望している。②水口北保育園前の丁字路も信号機を含めた安全対策を実施する。

問 甲賀市と認定こども園とで交わした協定で、公立園と同等以上の教育・保育が得られているか。

教育長 教育・保育の適正な継承がされ、派遣の成果があった。

小西喜代次議員



◆生活保護基準引き下げによる影響と滞納者への対応、◆信楽高校は存続したが、更なる発展へ市の対応、◆高齢者・障害者へのコミバス、信楽高原鉄道への料金助成を、◆信楽小・中・高校の通学路の安全対策を求める。

問 生活保護受給者、また同等の生活状態の人の滞納徴収は、国税徴収法・地方税法の「滞納処分の停止の要件等」に当たるのではないか。

総務部理事 滞納徴収を停止し、関係部局に徹底する。

問 信楽高校は存続したが、更なる発展への市の対応を問う。

教育部長 (仮称)信楽高校地域支援協議会においてPRや体験教室の実施など検討していきたい。

問 高齢者と障がい者全員に市コミバス、信楽高原鉄道など公共交通への料金助成の拡充を求める。

総合政策部長 財政的負担を考え今後の検討課題としていく。

問 平成22年度から障害三級が除外された「自動車燃料費補助」を元に戻すことを求める。

健康福祉部長 現行どおりで拡充は考えていない。

問 信楽小・中・高校の通学路の安全対策を求める。

建設部長 狭いながらも、車道と歩道が区別されているので緊急対応していない。安全安心の交通環境の向上に努める。

手話通訳を介して聴覚障害者が傍聴

今議会一般質問で、多数の聴覚障害者の方々が手話通訳を介して議会を傍聴されました。議会の責任と負担で手話通訳士を配置したもので、当然の事とはいえ、甲賀市議会では初めてのことです。山岡議員が聴覚障害者の要望を取りあげたもので、傍聴した人たちからは「初めて参加した。臨場感があってよかった。今後も参加したい」などの感想が寄せられました。

6月定例議会

6月定例市議会は、6月3日開会・20日までの予定です。請願や意見書、一般質問の通告締切は、5月24日まで。一般質問は、12・13・14日が予定されています。



甲賀市議会史上初めて